

国際平和協力業務

我が国は、国連平和維持活動、国際連携平和安全活動、人道的な国際救援活動及び国際的な選挙監視活動に対して、国際平和協力隊員を派遣し、以下の業務などを実施しています。

- 武力紛争の停止の遵守状況の監視、武装解除の履行の監視
- 紛争によって被害を受けた生活上必要な施設又は設備の復旧又は整備
- 被災民に対する食糧、衣料、医薬品その他の生活関連物資の配布
- 警察行政事務に関する助言若しくは指導又は警察行政事務の監視
- 選挙若しくは投票の公正な執行の監視又は管理
- 司令部などにおける企画、立案、調整又は情報の収集整理



▲カンボジア国際平和協力業務
(1992年9月～1993年9月)



▲コンゴ民主共和国国際平和協力業務
(2006年7月～2006年11月)

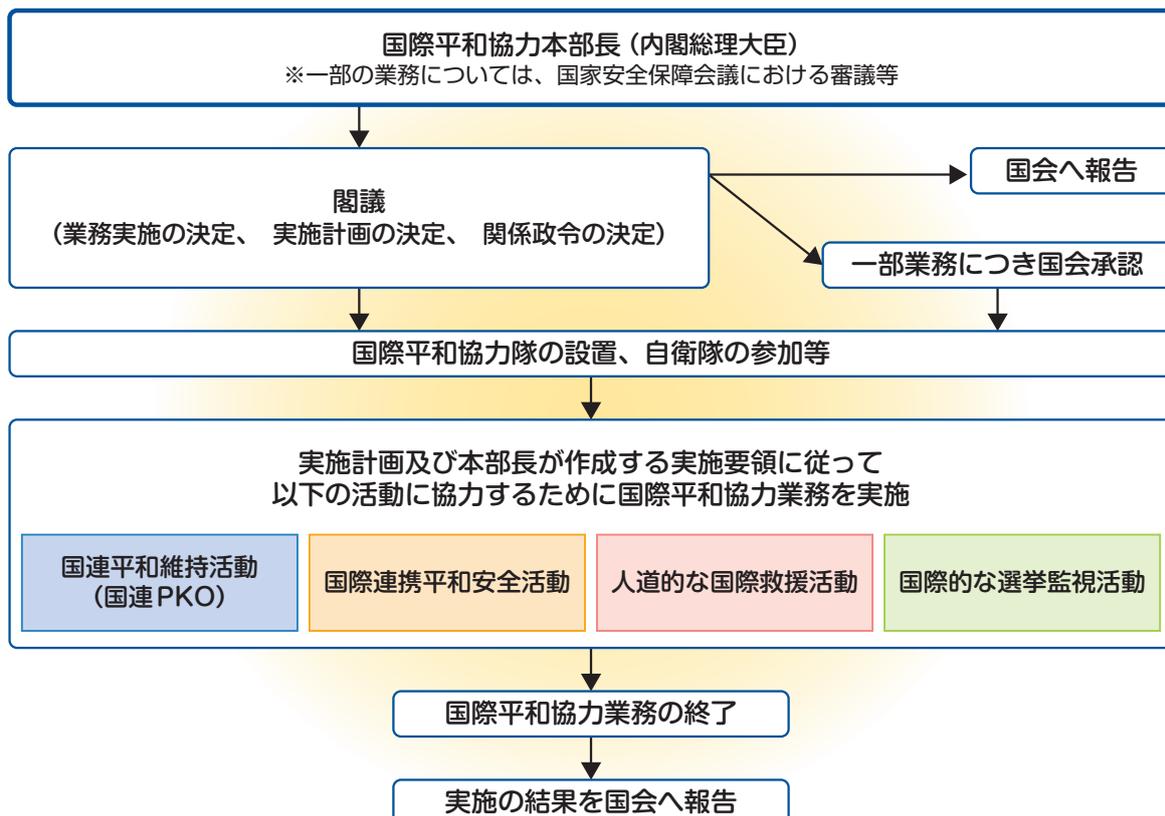


▲東ティモール国際平和協力業務
(2007年1月～2008年2月)



▲ハイチ国際平和協力業務
(2010年2月～2013年2月)

国際平和協力業務の仕組み



現在展開中の国際平和協力業務

南スーダン国際平和協力業務 (2011年11月～)〔国連平和維持活動〕

国連からの要請を受け、国連南スーダン共和国ミッション (UNMISS) に対し、司令部要員及び自衛隊施設部隊を派遣しました。現在 (2025年1月時点)、司令部要員6名を派遣しています。

<司令部業務の概要>

首都ジュバのUNMISS司令部において、6名のうち4名の司令部要員は、軍事部門の兵站全般の需要に関する調整 (兵站幕僚)、データベースの管理 (情報幕僚)、施設業務に関する企画・調整 (施設幕僚) 及び航空機の運航支援に関する企画・調整 (航空運用幕僚) の業務を行い、残り2名の司令部要員は、新たに国連の公募等に合格し、2024年5月から原則1年の任期で人事及び教育訓練に関する企画・調整 (副参謀長及び同補佐官) の業務を行っています。

<派遣している司令部要員の執務状況>



シナイ半島国際平和協力業務 (2019年4月～)〔国際連携平和安全活動〕

我が国は、エジプト・イスラエル間の停戦監視や両国の対話・信頼醸成の促進のため活動している多国籍部隊・監視団 (MFO) に対し、現在 (2025年1月時点) 司令部要員4名を派遣しています。

<司令部業務の概要>

4名の司令部要員は、シャルム・エル・シェイク (エジプト) に所在するMFO司令部の連絡調整部と後方支援部において、MFOの停戦監視活動の実施に関するエジプト・イスラエルとの連絡調整、両国関係当局間の対話・信頼醸成の促進の支援、施設整備に関する企画・調整の業務を行っています。

<派遣している司令部要員の執務状況>



最近実施した国際平和協力業務

ウクライナ被災民救援国際平和協力業務 (2022年4月～6月)〔人道的な国際救援活動〕

我が国は、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) からの要請を受け、ウクライナ被災民のためのUNHCRの人道救援物資計約103トン (毛布17,280枚、ビニールシート12,000枚、ソーラーランプ5,184個及びキッチンセット3,380個) をアラブ首長国連邦 (ドバイ) からポーランド及びブルーマニアまで、自衛隊機により計8便空輸しました。

<活動の状況>

